



学校だより
かもっこ

校長 岩下 弘志

〈目指す子ども像〉

- 見通しをもって、よく考える子ども
- 元気でたくましく最後までやりとげる子ども
- 思いやりがあり、感動できる子ども

10月1日現在児童数 404名
(前月比±0名)
学校電話番号 701-3328
HP : kamodare@kita9.ed.jp

平成26年度

全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

今年度、全国学力・学習状況調査の結果がでました。皆様も新聞や放送等の報道で見聞きされた方も多いかと思います。本校の児童に実態については以下の通りです。

1 教科に関する調査結果の概要

① 学力調査結果と分析

カテゴリー	全国との比較	学力調査傾向と特徴
国語A	厳しい状況	漢字の読み書き、故事成語の適切な使い方、情景描写を正しく理解し、適切なものを選択する等の問題が出されている。
国語B	厳しい状況	卒業文集はパソコンを使ってつくるか、手書きにするかという討論会の様子の文章を読み、司会者の発言内容をまとめて書く、問題文の条件に合わせて、質問か意見を書く等の問題が出されている。
算数A	あと一步の状況	四則計算、四則の混合した式の意味、単位量あたりの大きさの求め方、体積の単位(1cm ³)と測定、二つの数量の関係を□、△などの記号を用いて式に表すことができるか等の問題が出されている。
算数B	あと一步の状況	示された情報を基に、条件に合う時間を求める、平面に4つの長方形を敷き詰める等の問題が出されている。

分析

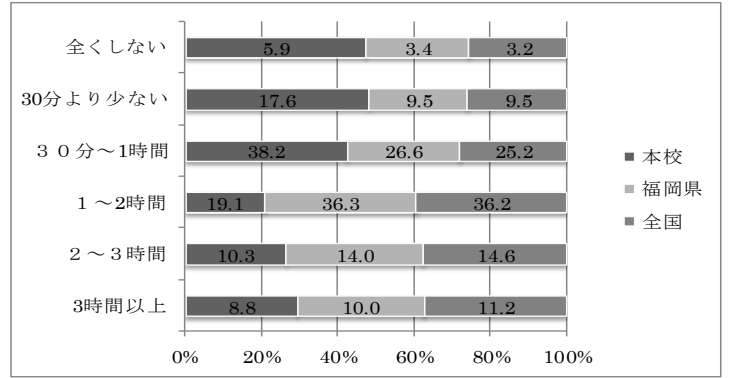
国語はA、Bの全領域で厳しい状況です。特に、共通しての課題として「書く」という点に大きな課題があります。

算数はB領域の「図形」が少し厳しい状況です。あと、四則混合した計算に課題がみられます。

2 家庭生活習慣等に関する調査結果の概要

① 家庭学習習慣に関する調査結果と分析

グラフから見えてくる姿として、家庭で全く学習しない、30分より少ないと答えている児童が本校では大変多いということです。



② 生活習慣等に関する調査結果と分析

朝食を毎日食べている、毎日同じ時刻に寝ている、毎日同じくらいの時刻に起きている、自分にはよいところがある等の質問に対し、本校児童の割合は全国より高い数値で「当てはまる」と答えている。基本的な生活習慣は良好な状態である。

3 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

学習規律の徹底 (私語をしない、チャイムを守る)
を全校で確認し指導徹底する。教科学習の時間において、「書く力」「話す」をつけるために、学習のめあて、まとめを素早く書けるようにすること。自分の考えを書いて整理してから説明させる。学習の終わりには振り返りを書く活動を位置付けて、学習中の自分の考えを書く活動を多く取り入れるようにする。

朝自習の取組「鴨っ子がんばりタイム」の充実を図る。毎週月曜日、全校一斉読書。木曜日、CRTアシストシートの実施(国語と算数は隔週で行う)、金曜日は計算タイム(百マス計算を学年に応じて実施する)また、清掃後の5分間の「カタイム」(ひまわりの暗唱)を全校で確実に実施する。

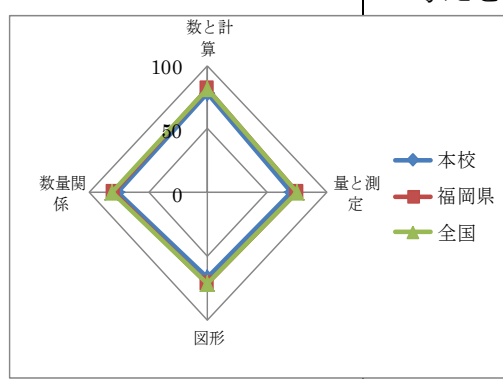
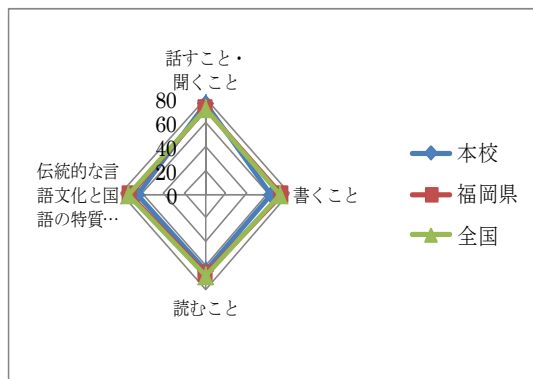
② 家庭生活習慣等に関する取組

早寝、早起き、朝ごはんの生活リズムの確実な定着が児童の学力を向上させる基本である。また、本校の課題として家庭学習時間が極端に短いという調査結果がでている。「家庭学習のすすめ」を活用して、家庭でどんな勉強をしたらよいかなどに学校だよりや学級通信をつかって協力の呼びかけを継続して行っていく。

2 学校における学習状況に関する調査結果と分析

国語A：主として知識

算数A：主として知識



国語B：主として活用

算数B：主として活用

